

＊ 1958年スワロフ日食の清水実氏の写真—その1—

アーカイブ新聞第973号で日江井名誉教授からのスライドを収蔵し紹介した。清水実氏のスワロフ日食の写真も収蔵していたが紹介する記事は書いていなかった。「スワロフ日食」でアーカイブ新聞を検索すると、No.7、14、21、90、91、92、101、119、201、878、943号がヒットするが、やはり日江井さんのスライドの紹介のような記事ではない。

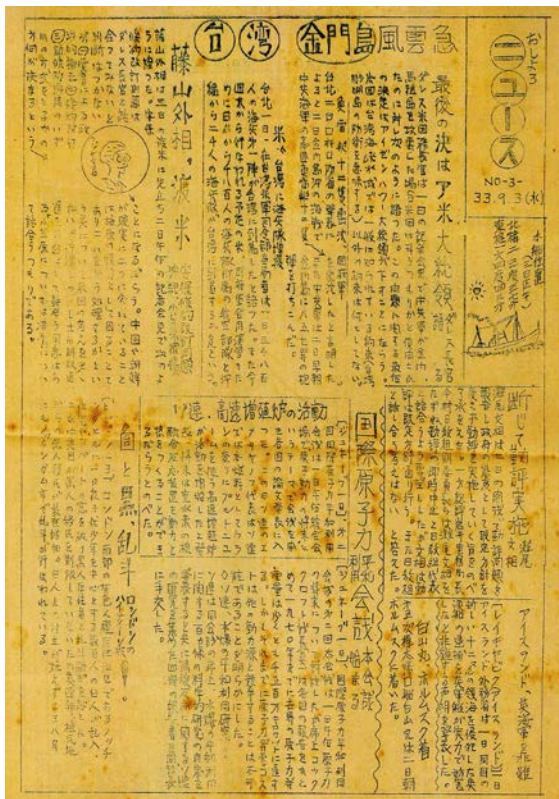


写真 1

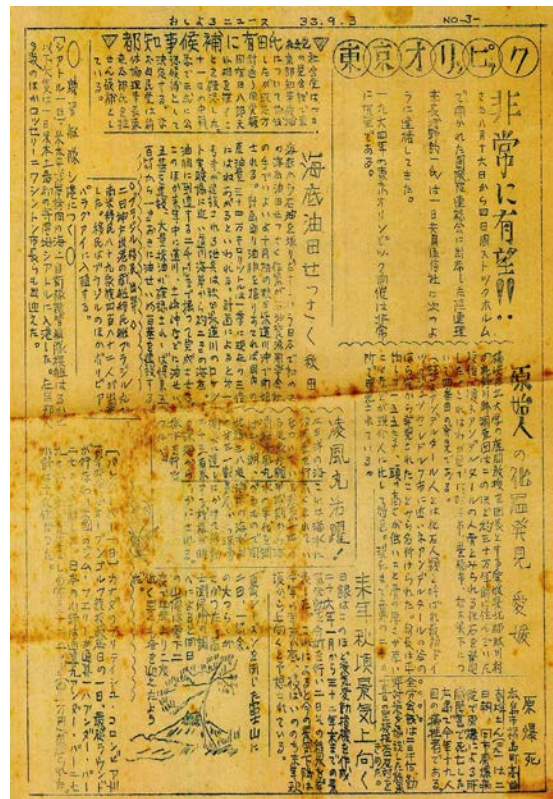


写真 2



写真 3



写真 4

清水実氏の写真も貴重なものなので記録を残しておきたい。相当な枚数になるが今回は48枚を紹介したい。写真1～4はおしよろ丸のニュースである。



写真4



写真5



写真6



写真7 観測団・乗組員全員



写真8 1958.8.25. 出向に際して(竹芝栈橋) 小雨

写真6は観測団員の末元、田鍋、日江井、山下、加藤、橋本、清水の全員である。写真9は栈橋に立つ加藤さん、写真10は見送りに来た萩原雄祐氏である。



写真 9 加藤正さん



写真 10 見送りに来た萩原雄祐氏



写真 11



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15



写真 16



写真 17



写真 18

写真 11～18 は竹芝栈橋の見送り風景である。写真 19 は出港したが台風の様子を知らせる記事の切り抜き、写真 20 には木更津沖で台風の通過を待つ甲板上の日江井、加藤、橋本の諸氏の様子である。

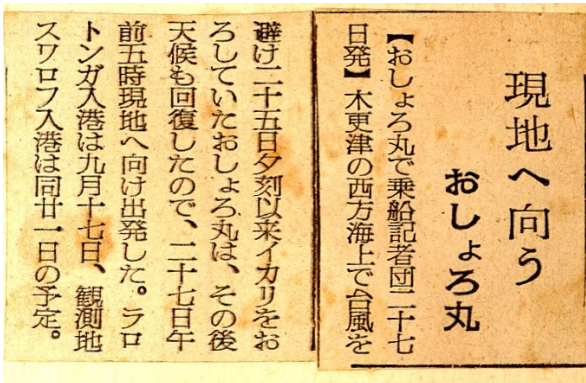


写真 19



写真 20



写真 21



写真 22

写真 21 は船が東京湾を出たとあり、写真 22 には天水を受けるテントを張る後半員の姿。写真 23～26 は船の甲板でくつろぐ光景である。写真 27 はベッドと脚注があるが判然としない。写真 28～48 は赤道祭の写真である。退屈な船旅の慰めの行事なのであろう。



写真 23



写真 24

写真 23 に写っているのは、日江井、清水、橋本の 3 氏であり、写真 2 4 は甲板で寝そべったりしてくつろいだ様子である。



写真 25



写真 26

写真 25 は、甲板上での散髪風景、写真 26 は待望のアイスクリームを食べているとある。



写真 27 ベッド



写真 28 赤道祭

船は赤道を超える際、赤道祭というお祭りをする習慣があるらしく、本来は暴風帯を無事に抜ける祈りの行事であろうが、この写真は皆が楽しんでいるように見える。



団長，船長

写真 29



田鍋画伯画く所の背景

写真 30

写真 29 は、観測団の団長と船長とある。写真 30 は田鍋画伯の祭りの背景とある。



赤鬼 海神 青鬼
(局長)

写真 31



写真 32



高塚 神主

写真 33



写真 34



玉串を挿げろ

写真 35



のりと

写真 36



写真 37



赤道通過の鍵を挿げろ

写真 38



鍵をあけろ

写真 39



ニセ電報

写真 40



ロカビリー (学生)

写真 41



写真 42



見物

写真 43



写真 44



写真 45



輪投げ

写真 46



写真 47



写真 48

今回は、スワロフ島に向かう船旅の赤道祭までの写真を載せた。一つづー

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp